

※このメールは、東京都産業教育振興会の会員の皆様に対し、一斉に送付しています。



東京の産業と教育（電子版）

第 54 号 令和 6 年 7 月 2 6 日

この会報電子版は、専門高校を中心とした産業教育の魅力を発信しています。
今後ともよろしく願いいたします。

東京都産業教育振興会HP <https://www.sansinchuoukai.or.jp/>

☆今号のコンテンツ

- 【1】令和 6 年度 総会・講演会の報告
- 【2】令和 6 年度第 1 回産学懇談会を都立赤羽北桜高等学校にて開催
- 【3】令和 6 年度企画推進委員会（第 1 回）の報告
- 【4】令和 6 年度「作文コンクール」のお知らせ
- 【5】令和 6 年度産学懇談会（第 2 回）開催のお知らせ
- 【6】第 5 5 回関東地区看護高等学校研究協議会の報告
- 【7】情報提供のお願い

【1】令和 6 年度 総会・講演会の報告（6 月）

令和 6 年度総会及び講演会を 6 月 2 5 日（火）全商会館において、対面とオンラインを併用したハイブリッド形式で開催しました。

総会の開会にあたり、西澤宏繁会長をはじめ来賓の方々よりご挨拶を頂きました。次に、事務局から 3 件の報告、6 件の議案を提案し、審議の結果、全議案とも原案どおり承認されました。

また、産業界会員功労者（永年会員）の表彰式を行い、永年のご支援に感謝の意を表しました。

本年度の表彰は、国光施設工業株式会社、東京商工会議所の 2 社です。



総会後の講演会は、株式会社価値総合研究所代表取締役会長の栗原美津枝氏から「学校現場の課題と企業の貢献」という演題で、学校運営と企業経営が共通の課題を有しているという視点から、企業が学校現場により貢献していくことについて、ご講演いただきました。



○詳細については、東京都産業教育振興会のホームページをご覧ください。

【2】令和6年度産学懇談会（第1回）を都立赤羽北桜高等学校で開催（7月）

7月4日(木)、都立赤羽北桜高等学校を会場に、本年度第1回目の産学懇談会を開催しました。都立赤羽北桜高等学校は、令和3年4月に開校した新しい専門高校です。

開会の挨拶を西澤宏繁会長、金澤正美会場校校長、長谷克己都立学校教育部高等学校教育課ものづくり教育推進担当課長より頂き、その後、校内見学（施設・設備等）を行いました。

見学後、金澤正美校長から学校概要や特色ある教育活動について詳しく説明を頂きました。その後、懇談に移り、参加者から施設見学・学校説明に対する質問・感想が述べられました。また、家庭学科（保育・栄養科、調理科）と福祉学科（介護福祉科）の現状と課題、教育活動への期待について意見交換を行い、有意義な機会となりました。

都立赤羽北桜高等学校の皆様には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。





【3】令和6年度企画推進委員会（第1回）の報告（7月）

7月12日（金）、都庁第二本庁舎教育委員会室にて、本年度第1回目の企画推進委員会を開催しました。開会のご挨拶を西澤宏繁会長より頂いた後に出席者の自己紹介をしました。座長を都立府中西高等学校の小川直哉校長にお願いし、本年度の事業予定及び事業活動経過等について、会報166号の発行についてなど7報告、会誌62号の編集について、「西多摩で働く人材を育てる産学連携事業」連絡協議会についてなど、7議案の協議が行われました。委員の方々から活発なご意見を頂きましたので、今年度の活動に生かしてまいります。



【4】（再掲）令和6年度「作文コンクール」のお知らせ

1 趣 旨

東京都産業教育振興会の会員校である東京都内の中学校、中等教育学校、義務教育学校、高等学校、専修学校、高等専門学校及び短期大学等に在籍する生徒・学生を対象に、産業教育に関する作文の募集を通して、専門教科の学習や勤労への興味・関心や意欲を喚起し、将来の職業人の育成を図り、もって東京の産業教育の振興と発展に資する。

2 作文の内容

中学校の技術・家庭科の学習もしくは高等学校や専修学校等における専門教科の学習、または勤労に関わる体験的な学習を通して経験したことを踏まえて、そこから得た人生観・職業観、自己の将来に対する考え方・心構え等について述べたもの。

【テーマ】

作文の内容について、次のテーマ番号（①～⑩）から関係するものを選択して応募の欄に記入する。

- ①授業等を通して学び得たこと
- ②インターンシップや現場実習等によって学び得たこと

- ③職場体験やボランティア活動等によって学び得たこと
- ④つくることの喜び、ものづくりの喜び
- ⑤働くことの喜び
- ⑥学習に対する心構え
- ⑦私の生きがい
- ⑧私の進路、将来の夢
- ⑨私の職業観
- ⑩その他（産業教育に関わる内容のもの）

3 応募期限

令和6年9月13日（金）【消印有効】

○応募資格、応募方法などの詳細については、東京都産業教育振興会のホームページをご覧ください。

【5】令和6年度産学懇談会（第2回）開催のお知らせ

- 1 日 時 令和6年9月13日（金）
午前部 9時30分～12時00分まで
午後部 14時00分から16時30分まで
- 2 会 場 実習船「大島丸」
- 3 申込み 「参加申込書」を7月31日（水）までに事務局にメールにて送付してください。



実習船「大島丸」

○詳細については、東京都産業教育振興会のホームページをご覧ください。

【6】第55回関東地区看護高等学校研究協議会の報告（7月）

7月16日（火）、愛国高等学校を会場に、第55回関東地区看護高等学校研究協議会が開催されました。愛国高等学校は、普通科の他に商業・家政・衛生看護の専門学科があり、「社会人として経済的に独立」し「家庭人として一家幸福の源泉」となる女子の育成を目指しています。

なお、看護科を設置している高等学校は、都内には唯一愛国高等学校だけであり、関東地区でも愛国高等学校を含め、6校しかありません。

この協議会では、高等学校における看護教育の現状や課題解決などについて多くの意見を交わし、看護教育の質の向上を目的としております。



開会のご挨拶を愛国高等学校織田奈美校長に頂き、主催者挨拶を全国看護高等学校長協会関東地区支部長岩波永様（千葉県立幕張総合高等学校校長）、来賓挨拶を文部科学省初等中等教育局参事官（高等学校担当）付産業教育振興室教科調査官藤原恭子様、東京都教育庁指導部主任指導主事（産業教育担当）山本進一様より頂きました。



その後、講演会に移り、「高等学校における看護教育—現状と展望—」の演題で元文部科学省初等中等教育局参事官（高等学校担当）付産業教育振興室教科調査官日本高等学校看護教育研究所浜松修学舎高等学校看護科長大橋泰久様を講師として、ご講演を頂きました。

昼食を挟み、管理部会、専門部会と2分科会が開催され、管理部会では「高等学校看護教育の在り方について」、専門部会では「看護臨地実習の目標設定と評価の在り方について」活発な議論がなされました。この後、全体会において分科会報告、講評と続き、閉会式となりました。

主管校である愛国高等学校の皆様には、準備・当日の運営等で大変ご尽力いただき心より感謝申し上げます。

【7】情報提供のお願い

特色ある教育活動情報など、ホームページに掲載したもの、あるいは掲載していないけれども会員の皆様に知ってもらいたいものがありましたらお気軽に事務局までご連絡ください。会報電子版でご紹介させていただきます。

【お願い】

この「東京の産業と教育（電子版）」は全文が著作権で保護されていますが、東京都産業教育振興会の会員校や会員企業の内部では情報共有して下さるようお願いいたします。

東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課内
東京都産業教育振興会 事務局 （担当：早川）
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1
TEL 03-5320-6729 都庁内線 53-247
E-mail : Tadanori_Hayakawa@member.metro.tokyo.jp
